

新潟市教職員の資質向上に関する指標

学び続ける教職員のために

これからの社会を生き抜き、
次の時代を切り拓いていく子どもを育てる



指標策定の目的

- (1) 社会が変化し、市民の学校教育へのニーズや期待が多様化する中で、新潟市の教職員として求められる資質を明確にすることを目的とし、校長及び教員の指標をはじめ、養護教諭、栄養教諭、事務職員等の指標を策定しました。
- (2) 本指標は、教職員が担う役割が高度に専門的であることを示すものであり、教職員一人一人が教職生活全体を俯瞰しつつ、自らの職責、経験及び適性に応じて、更に高度な段階を目指す手掛かりとするためのものです。
- (3) 大学との連携・協働による教職員の養成・育成の円滑な接続を行い、指標に基づく共通認識の下、優秀な人材の確保及び教職員の資質の向上を図ることを目的としています。

指標の活用

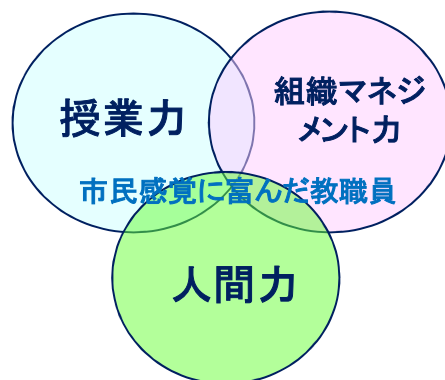
- (1) 教職員が自らの資質を把握し、資質向上に向けた目標設定を行うための具体的な指標として活用します。【教職員】
- (2) 校内研修やOJTにおける組織的人材育成の指標として活用します。【学校】
- (3) 教育委員会の主催する研修事業の企画・運営等に活用します。【教育委員会】



教職員として求められる資質

新潟市教育ビジョンに基づき、新潟市の教職員として求められる資質に関して「授業力・実践力」「組織マネジメント力」「人間力」の3観点から指標内容を定め、各項目を設定しました。

「授業力・実践力」は専門性に関わる指標内容であり、職種によって異なる項目を設定しています。また、「人間力」は全ての職種に共通の指標内容としました。



〈新潟市教育ビジョンが目指す教職員〉

子どもたちのよき理解者として、健やかな成長を支援し、保護者や地域の人たちから信頼される教職員となるためには、日々の研修・研鑽により資質・能力の向上に努める必要があります。また、学校・地域・保護者や関係機関、専門機関などとの協働を一層推進していくために必要な、市民としての感性や市民感覚に富んだ教職員が求められています。

そこで、年代や経験に応じて発揮される「授業力」や「組織マネジメント力」の伸長はもちろん、人間として魅力のある「人間力」を磨くことのできる研修プログラムの充実を進めます。

※「新潟市教育ビジョン基本構想・基本計画」(平成18年3月)より

キャリアステージの区分

教職員一人一人のキャリアパスは多様であるとの前提の下、研修等を通じて教員等の資質の向上を図る際の目安として、次のとおり概ね3つの段階に分けました。

第1ステージ

学級経営、教科指導等の担当業務を中心に、児童生徒と誠実に向き合いながら、教職員としての基礎・基本を習得する段階です。



第2ステージ

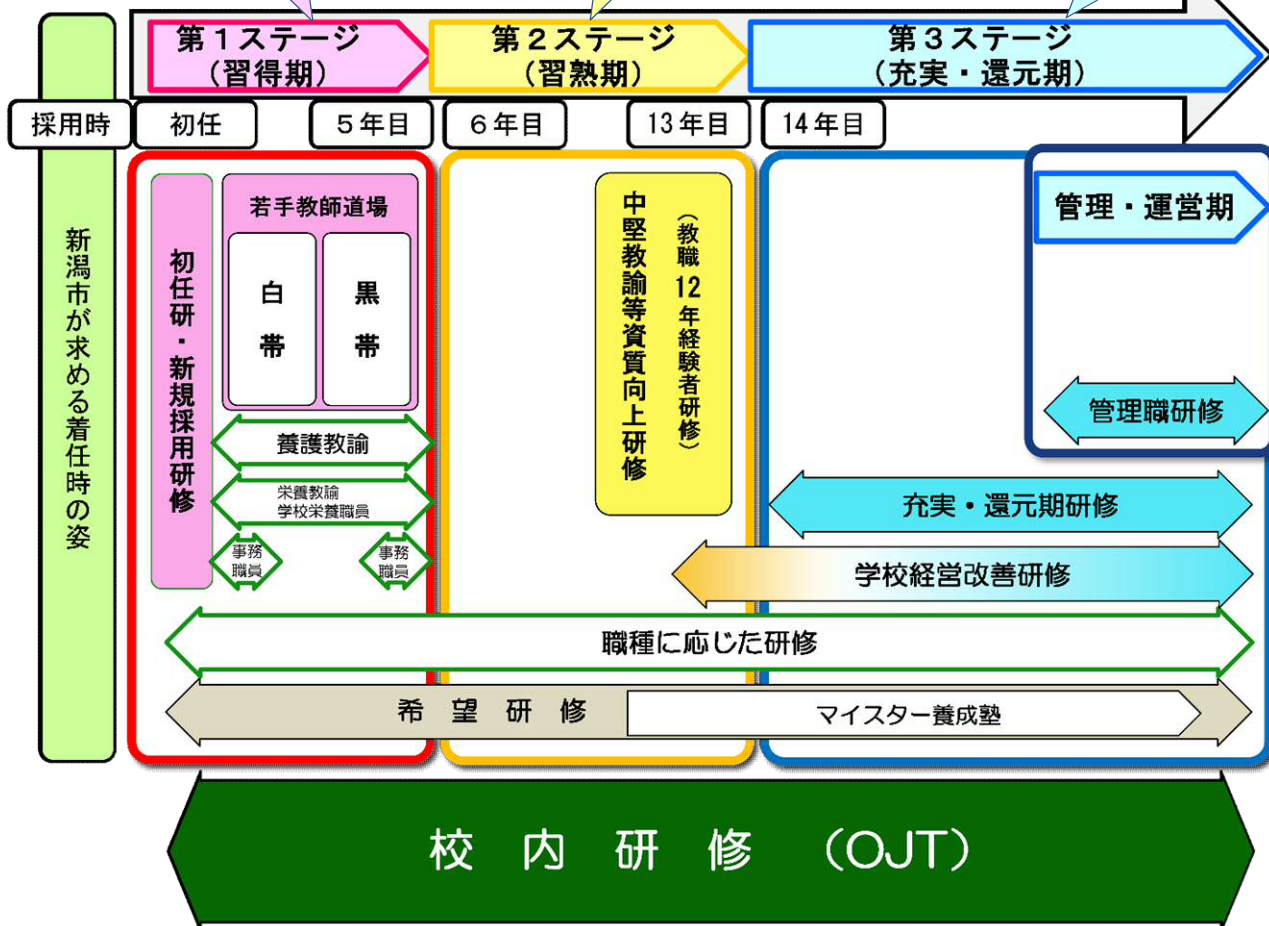
校内研修やOJTを積極的に活用して専門性を向上させ、担当業務遂行能力を高める習熟の段階です。

第3ステージ

自己の資質にさらに磨きをかけるとともに、自校や地区における他の教職員の資質向上に向けて支援する充実・還元の段階です。

また、学校全体を支えるリーダーとして豊富な経験を生かし、広い視野で組織的な学校運営を行う管理・運営の段階を第3ステージに位置付けました。

※事務職員は、第3ステージに、副主査・主査【充実期】、主任【還元期】、事務主幹・総括事務主幹【管理・運営期】を、職務によって細分化して位置付けてあります。



〈新潟市教職員研修体系イメージ図〉